

第12回 鎌倉名画座 「東京暮色」

鎌倉に縁のある小津安二郎監督作品を多く取り上げている

「鎌倉名画座」も12回目を数えます。

今回は、ゲストスピーカーに有馬稲子さんを迎え、出演作の「東京暮色」を上映します。上映に先立って作品に対する思いや、小津監督にまつわるエピソードなどをお話いただき、世界的に評価の高い小津作品を理解を深めつつ、堪能していただける会となっています。

日 時	2017年 2月 18日(土) 12:30 開場 13:00開演 16:00終演予定
会 場	鎌倉生涯学習センター《きらら鎌倉》ホール (JR鎌倉駅東口徒歩3分・若宮大路沿い)
料 金	全席指定 前売券:1,200円 当日券:1,500円 (前売券完売の場合は、当日券は販売しませんので、お早めにお求めください。)
チケット (12/1発売)	<窓口のみ> ●たらば書房(鎌倉駅西口) ●島森書店(鎌倉駅東口) ●きららカフェ(鎌倉駅東口・鎌倉生涯学習センター 1F ロビー) ●小田急百貨店藤沢店4F 小田急レディスクラブカウンター(藤沢駅南口) ●鎌倉芸術館1Fインフォメーション (大船駅下車・但し販売は12/20まで) ●鎌倉文学館 ●鍋木清方記念美術館 <電話予約> ●(公財)鎌倉市芸術文化振興財団 ☎0467-23-3755(火～金曜9:00～17:00 12/28～1/4は休) ※未就学児童の入場はご遠慮ください。
主催・お問い合わせ	(公財)鎌倉市芸術文化振興財団 ☎0467-23-3755
後 援	鎌倉市、(一社)鎌倉同人会

第12回 鎌倉名画座



東京暮色

2017.2.18 [土]

全席指定：前売り1,200円 当日1,500円

※2016年12月1日発売開始。前売り券完売の場合、当日券はありませんので、お早めにお求めください。

■チケット取扱い場所

- 島森書店 (鎌倉駅東口)
- たらば書房 (鎌倉駅西口)
- きららカフェ (鎌倉生涯学習センター1Fロビー)
- 鎌倉芸術館1Fインフォメーション (大船駅下車：但し販売は12/20まで)
- 小田急百貨店藤沢店レディスカウンター (藤沢駅南口)
- 鎌倉文学館 鍋木清方記念美術館

■電話予約&お問い合わせ

(公財)鎌倉市芸術文化振興財団 TEL 0467-23-3755

(火～金9:00～17:00 ※12/28～1/4は休業)

※未就学児は入場できません

鎌倉生涯学習センター (きらら鎌倉) ホール
鎌倉市小町1-10-5 (JR鎌倉駅東口から徒歩3分)

12:30 開場

13:00～トーク／
有馬稲子さん (女優)

13:30頃～
「東京暮色」上映



「東京暮色」主演女優の有馬稲子さんをゲストに、作品にまつわるエピソードや撮影当時の思い出などをお話しいたします。

●解説

ジェームス・ディーン主演の『エデンの東』（1955年）の小津的翻案とされ、小津作品中でも最も悲劇的な作品である。小津としては自信作だったようだが賛否が分かれ、共同脚本の野田高梧は本作品に批判的であったと言われる。内容の暗さと相まって夜の場面も多く、明子役の有馬稲子は全編を通してほとんど笑顔のシーンがない。登場人物は皆暗い過去を引きずり、未来に希望を見いだせないでいるが、孤独感と冷たい詩情を湛えた稀有な作品となっている。



「東京暮色」©1957松竹株式会社

東京暮色

140分 モノクロ 1957年4月30日公開 製作：松竹株式会社

監督／小津安二郎 脚本／野田高梧・小津安二郎 製作／山内静夫

撮影／厚田雄春 編集／浜村義康 音楽／斎藤高順 制作／松竹大船

出演者／原節子 有馬稲子 笠智衆 山田五十鈴 杉村春子 田浦正巳 ほか

●あらすじ

銀行員・杉山周吉（笠智衆）は男手一つで二人の娘を育て、今は次女の明子（有馬稲子）と暮らしている。長女・孝子（原節子）は嫁ぎ、あとは明子の結婚さえ決まれば一安心のはずが、孝子が突然子連れで戻って来た。

一方、明子は年下の恋人・木村（田浦正巳）やその友人たちの奔放な生活に惹かれているが、ある日、妊娠を告げた途端、明子を避け始めた木村。不安に駆られた明子は木村を探し回るうちに、偶然自分の母親の秘密を知ってしまう・・・。



1957年公開当時のポスター。



「東京暮色」©1957松竹株式会社